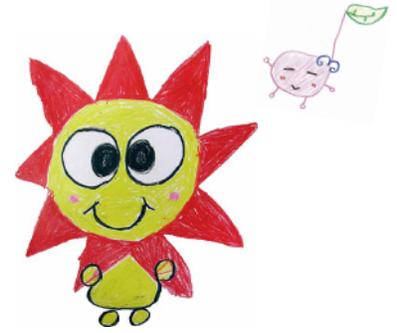


平成27年度（2015年度）
（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

特定非営利活動法人 奏海の杜
事業報告書・決算報告書



障がいがあってもなくても 誰もが自分らしく暮らせる地域に。



障がい者も高齢者も子どもも大人も、みんなが笑顔でともに支え合い、
優しいハーモニーを奏でるような地域が、奏海の杜の目指す未来です。

【平成27年度総括】

平成23年6月に被災地障がい者センター県北支部として始まった活動は、5年目に入り、大きな転換期を迎えました。1つ目は、南三陸町内に念願の拠点設けられたことです。平成24年下半期からのぞみ福祉作業所の一角や入谷公民館の和室をお借りして2年半、ほぼボランティアベースで続けてきた障がい児の日中活動支援は、地域の皆様の温かいお力添えにより、今期6月、子ども広場にこま～る南三陸として地域に根を下ろすことができました。100%の放課後等デイサービスの事業所として始められたことにより、経営的にもようやく将来の見通しを立てることができるようになりました。

かつては、南三陸町に拠点を設けられたと同時に登米市中田町の拠点は閉鎖する意向でした。しかし活動を続けた4年の間に登米市にも支援を必要とする声が聞こえてきたので、当期中田の事業所も残すことになりました。なかなか利用者と繋がれないまま時間ばかり過ぎていきましたが、地域の方々のお力添えのおかげで、年度末には見学者も増え、明るい兆しが見えてきました。本年度の子ども広場は、違う地域性を楽しんで学ばせていただきながら、登米市と南三陸町の障がい児や保護者のみなさまの交流の場になれることを目標に、2カ所で活動を続けて参りました。通常の活動は今まで同様、丁寧に日常生活を送ることで出来ることを伸ばし、子どもが自ら考えて健康な心を養うことをサポートし、そして、将来の本人らしい自立を一緒に考え、子どもも親も育ち合える場を目指しました。地域交流企画としては、6月にはとっておきの音楽祭、8月にはとうきょう☆なう、10月にはにこまる祭と盛りだくさんの1年でした。ただ、相談支援事業に関しては、担い手の不足から継続が厳しい状況となっており、来期へ課題を残しています。

そしてもう1つの大きな変化は、南三陸町から入谷福祉仮設住宅の管理業務の受託したことです。前任の法人から引き継ぎ、利用者5名常勤8名非常勤2名で4月から業務を開始しました。こちらは、自立している高齢者が復興公営住宅へ入居するまで生活をしている施設です。運営側のわたし達は何もかも初めてのことでしたが、前任者の時から引き続き業務をしている職員と利用者の方々の安心と自立生活を考えながら、運営して参りました。年度末には福祉仮設の併合により利用者が3名増えましたが、平成28年夏頃から復興公営住宅への入居が始まります。最後の方が退去されるまで、利用者の方々の平穏な毎日と機能低下の防止のため尽力するとともに、福祉仮設閉鎖後も利用者の方々が安心して暮らせるよう関係各所と連携して参ります。

平成27年度は様々な事が始まり慌ただしく走り抜けた1年でしたが、地域に根を下ろせたことにより関わる方も増え、誰もが自分らしく暮らせる地域作りという理念の第一歩を具現化できた1年でした。

【2. 特定非営利活動に係る事業に関する事項】

(1) 乳幼児、障がい児・者、高齢者等の日常生活支援に関する事業

① 子ども広場 にこま〜る / 日中活動支援 まるま〜る

※ 児童福祉法に基づく児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業 / 登米市・南三陸町日中一時支援事業

〈運営理念・方針〉

- ◎ 丁寧に日常生活を送ることで出来ることを伸ばし、子どもが自ら考え、健康な心を養うことをサポートする。将来の本人らしい自立を一緒に考え、子どもも大人も育ち合える場を目指す。
- ◎ 障がい児が日常生活における基本的動作を習得し、学校教育と相まって、障がい児の自立の促進をするとともに、放課後等の居場所を提供する。
- ◎ 事業の実施にあたっては、意思や人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。
- ◎ 人材育成情報共有に努め、安定した支援が行える体制を整える。
- ◎ 地域との結びつきを重視し、市町村や学校、他事業者、その他のサービスを提供するものなど他機関との連携に努める。
- ◎ 防災に関する情報収集、備蓄の管理など、災害時に対応出来るよう整備する。

〈活動概要〉

- ◇ 活動内容：運営理念のもと、本人や親御さんと面談をして作成した個別支援計画に基づく療育。
学校（バス停）～活動場所～自宅間の送迎を含む。
- ◇ 利用者の状況：
【放課後等デイサービス事業登録者】
にこま〜る中田：2名（小学生2名：内1名は転居により7月から10月のみ利用）
にこま〜る南三陸：11名（小学生6名、中学生3名、高校生2名）
【日中一時支援事業登録者】
まるま〜る中田：1名（未就学児1名）
まるま〜る南三陸：5名（成人5名）
- ◇ 活動時間：学校休業日以外：放課後～17時
学校休業日：9時～16時
- ◇ 活動場所：
にこま〜る / まるま〜る 中田・・・登米市中田町上沼字西桜場32-1
にこま〜る / まるま〜る 南三陸・・・本吉郡南三陸町入谷鏡石4-1 晴驛谷内



〈親御さんの声〉

にこま〜るさんを利用してから「待つ」ことができるようになってきました。本人もにこま〜るに行くことを楽しみに待っています。

プラネタリウムそして古川までのドライブが出来たのも良かったと思います。ありがとうございました。

にこま〜るのみなさんに出会えてほんとに良かったです。本人に寄り添った支援をして頂き本当に感謝しています。

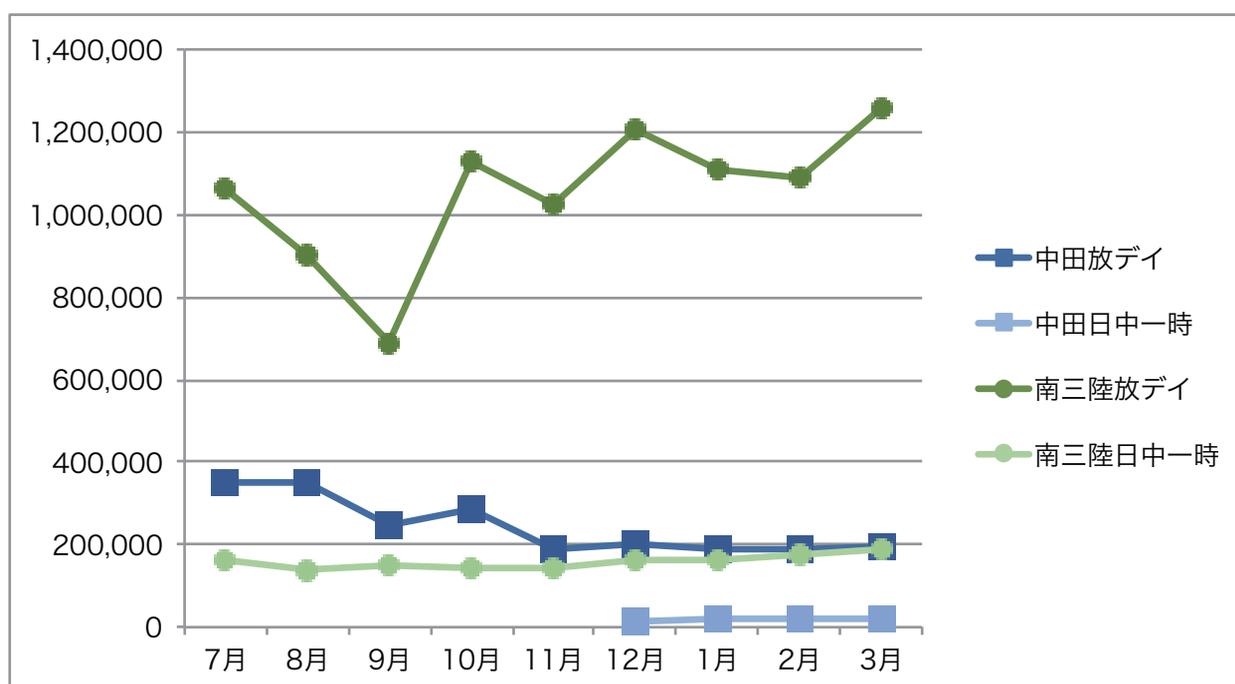
子ども広場にこま〜る 利用実績（平成27年度）

(円)

1拠点時	のべ利用者 (人)	収入	合計
4月 日中一時	93	321,761	
放デイ	35	420,308	742,069
5月 日中一時	103	321,642	
放デイ	11	130,110	451,752
合計	242	1,193,821	

中田	のべ利用者 (人)	収入	月合計
6月 放デイ	18	192,380	192,380
7月 放デイ	31	353,090	353,090
8月 放デイ	30	349,650	349,650
9月 放デイ	23	247,720	247,720
10月 放デイ	26	283,960	283,960
11月 放デイ	22	191,250	191,250
12月 日中一時	2	11,090	
放デイ	23	202,700	213,790
1月 日中一時	4	22,280	
放デイ	22	189,020	211,300
2月 日中一時	4	22,280	
放デイ	23	191,360	213,640
3月 日中一時	4	22,280	
放デイ	23	197,450	219,730
合計	255	2,476,510	(円)

南三陸	のべ利用者 (人)	収入	月合計
6月 日中一時	101	310,565	
放デイ	20	207,530	518,095
7月 日中一時	44	161,390	
放デイ	96	1,065,420	1,226,810
8月 日中一時	35	139,489	
放デイ	78	900,230	1,039,719
9月 日中一時	38	149,510	
放デイ	65	690,460	839,970
10月 日中一時	39	140,535	
放デイ	107	1,127,260	1,267,795
11月 日中一時	37	145,054	
放デイ	97	1,024,050	1,169,104
12月 日中一時	40	161,690	
放デイ	113	1,204,350	1,366,040
1月 日中一時	41	163,152	
放デイ	102	1,106,000	1,269,152
2月 日中一時	45	175,805	
放デイ	104	1,087,700	1,263,505
3月 日中一時	49	191,015	
放デイ	115	1,257,640	1,448,655
合計	1366	11,408,845	(円)



〈H27年度 子ども広場 総括〉

4月1日～5月31日：南三陸の利用者を対象とし、日中一時支援事業と放課後等デイサービス事業を行う
(拠点：放課後等デイサービスは中田事務所、日中一時支援事業は南三陸町入谷公民館和室)
6月1日～：南三陸と中田、活動拠点は2カ所に。それぞれの地域の方々を対象に事業継続を図る。

にこま～る中田より

今年度は南三陸に念願の活動拠点が出来、6月より南三陸と中田の2ヶ所での事業展開となった。今まで南三陸限定で活動していたことで、新たに登米市の子どもたちの利用開拓は厳しいものがあった。登米市は児童の相談支援事業所が1ヶ所しかなく今年度始まったばかりで、現在の利用児は市の保健師さんよりつなげて頂いたことにより利用となった。1人の子と向き合いながら12月ようやく日中一時ではあったが未就学児と出会い、H28年4月1日からは放課後等デイサービスでの利用につながることになり、新規利用児増が期待されることである。また、自閉症児者の親の会の定例会に参加させて頂いたり、市等管内研修に積極的に参加したり、高機能自閉症当事者を迎え座談会を主催し、にこま～るを知ってもらえるよう地域の方々に足を運んで頂いたことは大きな収穫となった。12月より学校長経験者の方をアドバイザーとして迎え、長期休み前に近隣小中学校に訪問し、利用児募集やにこま～るの周知を積極的に働きかけた。結果、地域の小学校より問い合わせや学校長の見学、利用を前提とした見学に結びついた。また、岩手県花泉より仕事の休みの日に、ボランティアで関わり続けて下さる方もおり、とても心強い。終盤の2月・3月には利用を前提とした見学が数件あった事は来年度につながることに信じ総括とする。



にこま～る南三陸より

前年度まで活動拠点となる場所がなく、南三陸町入谷公民館での活動形態となっていたが平成27年6月に同入谷地区にハレバレーが開所となり、その一角で、にこま～る南三陸として事業を開始している。当初は、環境の変化に子どもたちも戸惑い、落ち着かない雰囲気だったが、日を追うごとに少しずつ慣れ、今ではみんな元気よくにこま～るへ通い、にこま～るのイベントや地域のイベントにも参加し楽しく過ごしている。設立当初から関わり続けて下さっているカリタスジャパンのボランティアさんたちは、子ども達の活発な活動を担って下さっており、ありがたい存在であった。夏休みのイベント流しソーメンでは散歩をしている地域の方やハレバレーで作業している方などにも声掛け一緒に楽しんだ。また、地域の連携では町の保健福祉課、支援学校、同事業を展開している【にじのわ】その他のサービス提供事業所との情報の共有が図れ、子供たちの成長を地域全体で考えられる状況にあり、拠点ができたことで地域の商店街等でも理解を示し、イベントや見学などの受け入れをしていただいている。着実に奏海の杜として地域密着型の事業所展開が出来つつある。



② 相談支援事業所 ぱらそる

※ 障害者総合支援法に基づく指定計画相談支援サービス
及び児童福祉法に基づく指定障害児相談支援サービス



〈運営理念・方針〉

- ◎ 相談支援事業を通して、障がいのある方の本人らしい自立を支援し、障がいの有無に関わらずみなが安心して暮らせる地域の実現に貢献する。
 - ◎ 利用者の心身の状況及びその置かれている環境に応じて、利用者の選択に基づき、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的活効率的に提供されるよう配慮して行う。
 - ◎ 事業の実施に当たっては、利用者に提供される障害福祉サービス等が特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業者に不当に偏することのないよう、公正中立に行う。
 - ◎ 市町村、障害福祉サービス事業者等との連携を図り、地域に置いて必要な社会資源の改善、開発に努め、自らその提供する指定計画相談支援及び指定障害児相談支援の評価を行い、常にその改善を図る。
- 以上の運営理念・方針に沿って、電話や訪問により相談支援、サービス等利用計画の作成を行った。

〈活動概要〉

利用実績（平成27年度）

◇ 活動内容：

計画相談支援及び、児童相談支援：

利用者およびご家族の方々とのアセスメントをもとに、地域における保健、医療、福祉、教育等の多様な事業者との面談を重ねてサービス等利用計画を作成する。

講師派遣：

発達障害者支援センターえくぼ アセスメント研修へ
ファシリテーターとして派遣（7/25、1/29）

◇ 実施地域 南三陸町

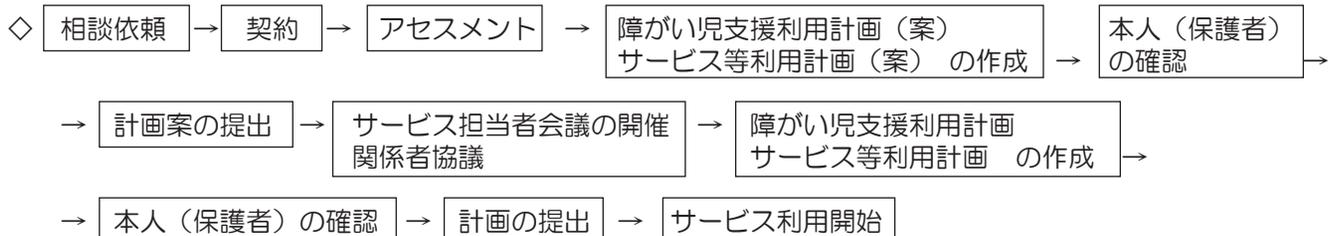
◇ 利用者の状況：障がい児 17名（新規1名、継続 16名）

◇ その他の相談：障がい者5名

相談内容：自立支援、就労支援、入院時の支援、
転居・住まい、ひきこもり、その他

	利用者（人）	収入（円）
4月	2	37,060
5月	3	45,210
6月	4	60,280
7月	4	60,280
8月	3	48,670
9月	2	30,140
10月	1	15,070
11月	4	75,660
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	23	372,370

〈児童相談支援 相談の流れ〉



◇ サービス担当者会議・関係者協議

関係者 事業所：にじのはクラブ、気仙沼市マザーズホーム、めぐみキッズ・ハウス
学校：気仙沼支援学校、志津川小学校、伊里前小学校、あさひ幼稚園、志津川保育所
戸倉小学校 等
行政：南三陸町保健福祉課、志津川保健センター 等

〈H27年度 相談支援 総括〉

主に障がい児童を対象とした障がい児支援利用計画の作成を行い、それに伴うサービス担当者会議や個別のケース会議の開催。家庭訪問や学校及び施設でのヒアリング。その他、各種変更に伴う手続きの代行を行っている。また、様々な困りごとを抱えた障がい者及びご家族の相談にも積極的に対応している。

③ 南三陸町入谷福祉仮設住宅

〈運営理念・方針〉

- ◎ 日常生活に不安があり、食事の支度や見守りなど配慮を要する高齢者等に対して、居住及び交流の場を提供し、健康で明るい生活を送ることができるよう支援する。
- ◎ 福祉仮設住宅の居住には期限があるため、転居した後にも身のまわりのことをできるだけ自分でできるよう、機能低下の防止など自立に向けた支援をする。
- ◎ 事業の実施にあたっては、意思や人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。
- ◎ 地域との結びつきを重視し、市町村や学校、他事業者、その他のサービスを提供するものなど他機関との連携に努める。
- ◎ 防災に関する情報収集、備蓄の管理など、災害時に対応出来るよう整備する。

〈活動概要〉

- ◇ 活動内容：運営方針のもと、利用者の日常生活のサポートを行う。
- ◇ 利用者の状況：
 - 平成 27 年 4 月・・・6 名（男 4 名、女 2 名）
 - 10 月・・・5 名（男 4 名、女 1 名）
 - 平成 28 年 3 月・・・8 名（男 5 名、女 3 名）
- ◇ 活動時間：通年（24 時間）
- ◇ 活動場所：南三陸町入谷福祉仮設住宅（本吉郡南三陸町入谷字山の神平 31-2）
- ◇ イベント：月に 1～2 回、行事を持っている
 - （4 月）子ども広場にこま～とお花見会
 - （5 月）畑の耕作、誕生会
 - （6 月）買い物ツアー（登米市）
 - （7 月）買い物ツアー（登米市）、演奏会（慈恵園）
 - （8 月）買い物ツアー（登米市）、誕生会、緑化作業（高校生来訪）
 - （9 月）セラピードッグ受け入れ、はり灸レンジャー受け入れ
 - （10 月）加護坊山紅葉狩り、舞踊ボランティア受け入れ
 - （11 月）誕生会
 - （12 月）クリスマス会、入谷南方交流会
 - （1 月）新年会
 - （2 月）誕生会
 - （3 月）歓迎会、はり灸レンジャー受け入れ、健康体操ボランティア受け入れ
- ◇ 利用者の今後・・・平成 28 年度で閉鎖予定
 - 災害公営住宅への入居、家族との同居、施設入所など
- ◇ 利用者の声
 - ・買い物に行くのが大変
 - ・通院の際のタクシー代が高い
 - ・近い将来が不安でたまらない



〈H27 年度 入谷福祉仮設住宅 総括〉

自立している高齢者の方々への支援ということで、介護施設ではなく、アパートの管理人でもないという微妙な役回りである。利用者との適切な距離感を図りながら手探りの 1 年であった。利用者からは、施設内がいつも清潔に保たれていてありがたいなどお褒めの言葉もいただいたが、それぞれに思いを抱えた方々との関わりは難しい面も多かった。しかし、健康に気遣った食事の提供や緊急時の迅速な対応等を経て利用者との信頼関係が作られ、職員と利用者が一緒に作業に当たる姿も見られるようになった。ただ、集団生活の中の個人の役割を明確にできなかったため、身のまわりのことを自ら行う利用者職員任せにする利用者に分かれているのが課題である。また、食事を終えるとすぐに居室へ戻ってしまうなど閉じこもりがちな利用者への支援方法も、再構築する必要がある。



④ 地域交流に関する事業

※ 障がい児・者の地域の交流を図るため、イベントを企画または実施に協力した。また他の事業所や団体との交流を持ち、地域交流の協力体制を作った。この取組により、本人達には意欲向上を図り、地域には障がい理解を進めている。

地域交流事業

4月	
18	南三陸 福祉仮設&子ども広場お花見ランチ
21	登米 自閉症親の会参加
5月	
2	南三陸 セラピー犬交流（ブルーベリーアイ）
9	仙台 日本NPO学会事例発表（東北大）
19	登米 手のひらに太陽の家イベント参加
31	石巻 移動支援Rera報告会参加
6月	
7	仙台 とっておきの音楽祭参加
11	南三陸 きょうされん研修旅行受け入れ
13	登米 いちご狩り
16	登米 自閉症親の会参加
23	南三陸 入谷公民館和室大掃除（退去）
7月	
1	南三陸 晴驛谷（ハレバレー）開所式
7	南三陸 にじのわ歌津開所式
11	登米 ピカチュウイベント参加
31	東京 とうきょう☆なう
8月	
7	南三陸 気仙沼支援学校施設見学受け入れ
16	大阪 ろうきん報告会&ゆめ風基金20年の集い
19	登米 あそぼう自然塾参加
20	南三陸 流しそうめん大会
27	南三陸 私大ネット研修受け入れ
9月	
5	南三陸 平成の森 運動会参加
20	南三陸 テクテクめぐる縁側アート作品展示
28	南三陸 未来ヘススモーション収録
10月	
3	南三陸 南三陸町福祉まつり参加
10	南三陸 にこまる祭
17	石巻 地域交流会（石巻祥心会）
28	大崎 紅葉見物（福祉仮設/加護坊山）
31	南三陸 ハロウィン仮装行列
31	登米 芋掘り
11月	
17	登米 発達障害座談会主催
23	大阪 東北⇄関西生活文化交流祭参加
23	大阪 大阪市城東区ピアフェスタ参加
28	登米 りんご狩り

12月	
22	南三陸 読書感想文審査会
1月	
15,16	南三陸 エコ平板講習会参加
19	南三陸 読書感想文審査会
27	仙台 協働促進フォーラム参加（福祉のあるまちづくり）
2月	
4,5	南三陸 NHKハートネットTV取材受け入れ
14	大阪 防災セミナー講演
17	東京 東日本大震災障害者救援本部解散集会参加
21	登米 手のひらに太陽の家交流祭参加
3月	
24	登米 登米市手をつなぐ育成会研修会講演
26	南三陸 子育てシンポジウム参加
27	仙台 県補助金報告会参加





にこま〜る通信
号外 2015年3月



NPO 法人 奏海の杜
登米市中田町上沼西桜庭 32-1
TEL : 0220-44-4171 / FAX : 0220-44-4841
メール : hisaitikouen@yahoo.co.jp
ブログ : http://blog.canpan.info/hsc_kenpoku/

2015年暑い夏をさらに熱くするとうきょう☆なう！
お申し込みありがとうございます！！お申し込みいただいた方々のツアーは、
予約を完了しました。今後のスケジュールの概要をお伝えします。

6月中旬：参加について最終確認をします。

この時点で行く可能性がなくなった方は連絡を下さい。ただ、夏休みなので、一度キャンセルすると、再び同じ予約は難しいとのこと。ご注意下さい。子ども達は、この頃から当日のプログラムについて計画を立てます。

※ 団体として国内旅行保険に入ります。案内をお配りしますので、
ツアー参加者の名前 / 年齢 / 住所等をお知らせ下さい

7月上旬：JR 座席について回答が来ます。

指定席が取れたかどうかについて、旅行会社から回答があります。人数が多いため近くの席は難しいかもしれません。また、夏休みで利用者が多い上、座席数が限られているため、指定席自体取れない場合もあるそうです。その際は、子ども達を優先に他は自由席などで対応することとなります。ご了承下さい。

7月10日：以降のキャンセルはキャンセル料が発生します。

ご家族の方々の正確なツアー代金をご請求します。数日以内に奏海の杜へご入金ください。以降のキャンセル料はご負担いただきますので、よろしくお願ひします。

7月20日頃：当日の集合時間など詳細を書いたしおりをお配りします。

子ども達のプログラムも決まっている時期です。子ども達がどのようなことを経験するつもりなのかご覧いただき、とうきょう☆なうまで気持ちを盛り上げて下さい。ご希望によって、ご家族の分のTDLのチケットなども手配します。

7月31日～8月1日：とうきょう☆なう！

準備をしっかりとしたあとは、心の底から楽しんでいきましょう～！

【ツアー概要】

7/31：くりこま高原 7:19 発（やまびこ 122 号）→東京 9:35 着
子どもはボランティアさんたちと個別にプログラムを行う。
ご家族の方々は自由行動。

宿泊：サンルートプラザ東京（舞浜）

チェックインは 15:00 から。8/1 朝食付き

8/1：出発まで自由行動（ホテルのチェックアウトは 12:00）

東京 14:36 発（やまびこ 55 号）→くりこま高原 17:01 着



※ 往復新幹線では車内で過ごすのが長いので、何か楽しめるものを持って行くといいかもしれません。
※ ツアー代金は、中学生以上 33,000 円程度、小学生 25,000 円程度です。ツアー代金に含まれるものは、往復新幹線代とホテル宿泊代です。その他 TDL チケット代金などは実費となります。実際のご負担の額は最終参加人数によって前後しますので、正確な代金は 7/10 以降に、ご案内いたします。よろしくお願ひします。

寄り添いつながって4年

にこまる祭 ～ 南三陸から感謝を込めて

平成27年10月10日(土) 11時～

場所：晴谷驛 (ハレバレー)



11:00 開会

1 挨拶

2 乾杯

始まりのかけ声は、もちろんあの人！

～ 歓談 関西と東北の美味しいもの～

3 スライドショー

奏海の杜の4年を写真で振り返ります。

4 ダンス

○ ベリーダンスのショー

大阪の素敵なお姉様たちが踊って下さいます。
にこま～るのみなさんも？！

○ にこまる48

お約束のにこまる48、みんなよく知っている曲で、
賑やかに会を盛り上げます。みなさんも一緒に！

13:00 閉会 (中メ) その後は心ゆくまで交流会。

主催：NPO 法人 奏海の杜

助成：大和証券フェニックスジャパン・プログラム2015

赤い羽根共同募金



〈H27 年度 地域交流事業 総括〉

前年度までは公民館を借りた活動であったため、子ども広場の実態がなかなか地域に見えづかった。しかし、今年度は南三陸町に拠点ができただけで、通常の活動をしていても自然に地域交流が図れるようになったのは大きな前進である。ただ、同じく晴驛谷（ハレバレー）で活動する高齢者の方々との交流は、活動時間や活動内容において違いが大きく、定例にはならなかった。好意的に受け入れて下さる方々であり、また、にこま～るの子ども達も新しい場所にすっかり慣れたため、来年度はお互いに楽しい時間を定期的にとれるようプロデュースしたい。

非日常のイベントとしては、6月にとっておきの音楽祭、8月にとうきょう☆なう、10月にはにこまる祭とハロウィン仮装などを行ったが、どの活動でも子ども達の意欲の増進や地域との交流を感じられ有意義であった。

（2） 社会福祉に関する調査、研修、教育、啓発、情報提供に関する事業

① スタッフ研修

※ 各方面のご協力のおかげで、主に障害特性の理解や具体的支援の方法など、実際の支援に直結する研修を選んで受講、スキルアップを図った。（H27 年度合計：48 回）

【スタッフ研修】

月日	概要
5/14	講演会「呼吸器をつけて地域で暮らす」（被災地障がい者センター石巻）
5/23	危機管理 リスクマネジメントについて（宮城県基盤整備事業）
6/15、18	フリー授業参観（気仙沼支援学校）
6/26	平成27年度 第1回指定障害福祉サービス事業者等集団指導（宮城県）
6/27	特性シートの使い方とポイント（宮城県基盤整備事業）
7/21	第1回障害児指定通所支援施設研修会「障害児支援の推進にむけて」（宮城県）
7/29	発達が気になる子の性教育（気仙沼支援学校）
8/6	指定障害福祉サービス事業者等集団指導【児童発達／放課後等デイ】（宮城県）
5/9～8/8	小児在宅研修会5回連続講座（宮城・仙台相談支援従事者協会）
8/8	発達が気になる子の支援と他職種連携（登米市）
8/18	登米母子保健研修会「発達が気になる子への支援と多職種連携～地域の中で」（登米市）
8/29	南三陸利用児の支援方法を学ぶ（心理士研修）（宮城県基盤整備事業）
8/30	発達支援コーチ初級講座(1)（ま～ぶる株式会社）
9/4	指定障害福祉サービス事業者等集団指導【児童発達／放課後等デイ】（宮城県）
9/6	発達支援コーチ初級講座(2)（ま～ぶる株式会社）
9/29	アプローチの方法を学ぶ（宮城県基盤整備事業）
10/8,9	支援のあり方を学ぶ(現場指導)（社会福祉法人そうそうの杜、NPO法人出発のなかまの会）
10/8	被災地の生活再建に取り組むNPOの人材育成 第1回研修（日本NPOセンター）
10/12	いのちの学習会（ばくばくの会）
10/30	8/29の振り返りと障害特性の理解とアプローチの仕方を学ぶ（心理士研修）（宮城県基盤整備事業）
11/10	感染症予防対策セミナー（気仙沼保健所）
11/12	にこま～る南三陸 県実地指導（宮城県）
11/17	「おしえてください 自閉症の方のきもち」参加者 15名、内6名が地域の方々（片岡聡氏、菊池啓子氏）
11/17	発達が気になる子の理解 事例から学ぶその子に合わせた支援（登米保健所）
11/17,18,20	児童発達管理責任者研修（宮城県）



月日	概要
11/20	ストレングスケアマネジメント（社会福祉法人そうそうの杜）
11/21	そうそうの杜 伝〈放課後等デイサービス〉見学 研修（社会福祉法人そうそうの杜）
12/5	強度行動障害支援のい・ろ・は（宮城県基盤整備事業）
12/8	発達が気になる子の理解 事例から学ぶその子に合わせた支援Ⅱ（登米保健所）
12/11	成年後見制度研修（石巻・女川自立支援協議会）
12/12	地域福祉フォーラム 強度行動障がい（手をつなぐ育成会）
12/18	第2回障害児指定通所支援施設研修会障害児支援の推進に向けて（宮城県）
12/19	面接の基本的な技術の理解（宮城・仙台相談支援従事者協会）
12/21,22	児童発達管理責任者研修（宮城県）
12/21,22	防火管理責任者講習
12/25	発達障害支援者研修「大人への階段の途中で」（社会福祉法人 恵泉会）
1/23	利用児の見立て 遠城寺式発達評価シートを用い発達段階を知る（宮城県基盤整備事業）
1/26	障害特性の理解（宮城県基盤整備事業）
1/27	虐待防止に向けた体制づくり～障害福祉施設等配置者、管理者の責務（登米市）
1/29	アセスメント技術を高める研修会（宮城県発達支援センターえくぼ）
2/1	みやぎNPO経営ゼミ第1回（日本NPOセンター）
2/4	気仙沼管内地域支援会議
2/14	障害者発地域の防災力アップセミナー（NPO法人自立生活センター・いこらー）
2/15	活動参考事例見学（NPO法人出発のなかまの会）
2/17	平成27年度被災地域障害福祉サービス支援事業研修会（宮城県基盤整備事業） 「放課後等デイサービスの運用基準」いまさら聞けない なんでも相談会
2/17	救援活動報告・政策提言集会（東北関東大震災障害者救援本部）
2/23	成年後見制度に係る研修会 成年後見制度の理解（南三陸町）
2/26	税務会計相談会（NPO法人 杜の伝言板ゆるる）
2/27	臨床発達心理士 菅原佐和子氏 現場指導（県基盤整備事業 専門職派遣）
2/29	ペアレントトレーニング研修会（宮城県発達支援センターえくぼ）
3/9	Vineland-II 概要研修会適応行動尺度から学ぶ個別支援計画の立て方（宮城県発達支援センターえくぼ）
3/12	障がい者の防災（CILたすけっと）
3/17	会計指導（宮城県）
3/29	みやぎNPO経営ゼミ第2回（日本NPOセンター）



〈H27 年度 研修 総括〉

平成27年度は新規事業所が開所して新しい職員が増えたこともあり、現場の体制を作り支援を安定させることを第一義とした。そのため、研修に充てる時間は今までより減ってしまったが、その分ミーティングによる情報共有や現場での声かけなどで支援の質の向上を目指した。

宮城県の基盤整備事業では今年もアドバイザー派遣と臨床心理士の派遣があり、定期的に支援を振り返る機会をいただけたのはありがたい。

にこま～るが心がける支援が確立してきた今、その根拠となる手法を体系立って学び深めていく時期になっているといえよう。また、担当者によって支援方法にばらつきがないよう、共通認識をもって支援にあたるよう心がける必要がある。研修に出ずとも、支援現場で学びあいの機会を持てるような雰囲気作りが必要である。



(3) 団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動

◇ 自立支援協議会への参加

- ※ 南三陸町自立支援協議会、及び、南三陸町自立支援協議会児童部会へ参加し、課題に対処するとともに、地域間連携を図った。

◇ 情報発信

- ※ 様々な媒体を通して活動を広報することで、活動を周知するとともに、利用者たちが地域へアクセスすることを支援した。

◎ 広報誌「にこ de ま〜る」

：毎月発行。利用者を含め町内約 30 カ所へ配布。半年分を会報『かなみ』としてまとめ、全国約 80 の会員の方々へ送付している。

◎ ブログ「かなみのもり」

：不定期更新（平均 7 回 / 月更新）よりタイムリーに奏海の杜の活動を伝えられるよう更新している。Facebook や Twitter とも連動している。

◎ メディア掲載

- ・政府広報 未来へススモーション（H27.11）
- ・NHK ハートネットテレビ、NHK ニュース（H27.3）

(4) その他目的を達成するために必要な事業

◇ 法人組織の基盤作り

- ◎新規拠点整備、法人住所移転（南三陸町入谷字鏡石 4-1）
- ◎職員の増員：福祉仮設住宅受託に伴い、常勤 1 名、非常勤 7 名雇用（H27/4/1）
- ◎会計・管理に関する業務指導（宮城県 / みやぎ NPO センター）
- ◎会計業務の委託（日野和義税理士事務所 / 佐藤綾乃 / H27.10 より）

【3. 実施体制等に関する事項】

◇ 会員の構成（平成 27 年度末）正会員：17 賛助会員：66

◇ 総会・理事会

◎第 1 回通常総会

日時：平成 27 年 5 月 23 日（金）19:00~21:00

場所：南三陸町入谷公民館（南三陸町入谷水口沢 1 2-3）

議事：事業報告、収支決算報告、監査報告、事業計画、収支予算

◎第 1 回理事会

日時：平成 28 年 2 月 24 日（水）18:00~20:00

場所：子ども広場にこま〜る南三陸（南三陸町入谷字鏡石 4-1 晴驛谷内）

議事：平成 28 年度事業計画について

◇ 役員・職員について

役員総数：6 名（理事 5 名、監事 1 名）

代表者：理事長 太齋京子

職員総数：19 名（常勤：子ども広場 5 名、福祉仮設 2 名、
非常勤：子ども広場 5 名、福祉仮設 7 名） ※ H28/3 末

◇ 事業に参加したボランティアについて

参加者総数：延べ約 80 名（カリタスジャパン、とうきょう☆なう他）

【ご寄附をいただいたみなさま】

社福) そうそうの社	NPO法人 出発のなかまの会	月川至	
大阪市手をつなぐ育成会	社福) ノーマライゼーション協会	小西寿一	
株式会社 高野コンクリート	伊豆つくし会 手をつなぐ親の会	橋本松代	
真如苑	東京都江東区立小学校事務職員会	平松いずみ	
デンソー はあとふる基金	自立生活センター・いこらー	久保恵理子	
社福) さくらんぼの会	一社) 虹の橋 にじのわ歌津	白樫友美子	
若葉建設株式会社	加藤由美子・永村夏美	阿部直美	
株式会社 アイドマ	井手麻里	田頭とめ子	安東希望
ヤマモト木材有限会社	佃美智子	佃直美	那須野亮
加賀谷歯科医院 加賀谷昇	川名まこと	原史江	川脇康生
国際ソロプチミスト石巻	片野康二	児島千鶴	井上愛子
株式会社 アルバ	草野哲也	菅原琴恵	中川晴美
株式会社 アーサ	丸山礼子	吉本博則	宮井佐智子
みぞはた保育園	浮ヶ谷美穂	佐藤綾乃	吉村早也香
NPO法人 びば南三陸	土屋潤	須賀謙介	芳賀正浩
南三陸復興ダコの会	須藤秀明	渡辺亜矢子	岩田幸子
居宅サービス事業者ネットワーク	荒川直人	千葉渉平	梅澤典子
アデランテ株式会社	相馬京子	永海真理子	阿部義子
社福) 洗心会 のぞみ福祉作業所	敬称略・順不同		

平成 27 年度は上記の団体さまと個人の方から、合わせて 2,331,661 円のご寄附をいただきました。
つながり続けて下さり、温かいお心遣い、ありがとうございました！

